

学力テストの結果と分析

(令和3年1月15日実施) ※学年は前年度のものです。

学年	教科	平均正答率		分析	新年度までに行う具体的取組
		全国	本校		
1年	国語	72.3	72.1	◎「聞くこと」の正答率が高かった。(話し手が知らせたいことを、落とさずに聞くことなど。) ●「書くこと」の正答率が低かった。(経験したことから書くことを見つけ、文章に書くなど。)	・書くときのポイント(助詞の使い方、順序を表す言葉、理由を付けて書くことなど)の復習を行う。
	算数	80.7	83.1	◎基礎的な計算問題(たし算・ひき算・3つの計算など)の正答率が高かった。 ●応用問題の正答率が低かった。 (示された減法の式と絵から、必要な要素を選び、適切な文章問題をつくる問題など。)	・式や絵から問題をつくる活動を行う。
2年	国語	75.6	70.7	◎漢字の読みと説明文を読み取る問題の正答率が高かった。 ●音声を聞き取って答える問題の正答率が低かった。	・書く力を伸ばすために、授業の始めに聞き取りドリルをする。 ・朝の会での読み聞かせ(月・金曜日)をする。
	算数	73.9	67.4	◎繰り下がりのひき算やテープ図を使ったひき算の正答率が高かった。 ●2桁や3桁の繰り上がりのあるたし算と九九の正答率が低かった。	・登校時や休憩時間に九九を唱える。 ・繰り上がり・繰り下がりのある筆算の計算プリントや九九のプリントを宿題に出す。
3年	国語	63.0	62.9	◎漢字・ローマ字や国語辞典の使い方など言語についての学習はできている。 ●文章を書く問題で指定された段落に指定されたことを書くことができていない。(問題の意味が理解できていない)	・誤答が多かった問題の答え合わせを行い、解き方を理解させる。
	算数	68.0	67.9	◎基礎的な計算問題はできている。 ●文章題を読んで何算を使うかが分かっていない。 時刻と時間	・四則計算の中から何算かを選ぶ文章題を解く。 ・時刻と時間の復習をする。
4年	国語	66.5	67.1	◎漢字の読み書きや、言葉の学習(主語・述語、ことわざ、語彙、漢字辞典の使い方等)の問題の正答率が全国より高かった。 ●物語や説明文を読み取る問題の正答率が低かった。 ●複数の情報を結び付けて文章を作ることが難しい。	・文章を書く活動を通して、情報を結び付けて考えるようにさせる。
	算数	63.3	69.4	◎小数や大きな数、計算のきまりに関する問題の正答率が全国より高かった。 ●角の大きさやグラフの読み取りやグラフを使って考えることが難しい。 ●式にあった文章問題を選ぶことが難しい。	・文章をイメージして立式させるようにする。 ・折れ線グラフの読み取りや角の大きさの問題を簡単に復習する。
5年	国語	67.1	66.3	◎「自分の意見を明確に書く。」の正答率が全国より高かった。 ●基礎の力がついていない、語彙がない。	・文章を作るときは、国語の教科書の巻末付録「言葉の広場」にある言葉を使わせる。
	算数	63.5	62.8	◎比例の関係は理解できており、正答率が高かった。 ●基礎の力がついていないため、応用問題もできていない。	・下学年の計算問題など基礎的な練習問題を朝の時間にする。
6年	国語	67.1	65.4	◎6年生の漢字の正答率が高かった。 ●目的に応じて、資料を活用し、文章をまとめる問題の正答率が低かった。最後の問題は無解答の割合が多かった。語彙力の少なさから問題把握が難しくかったり、適切な接続詞が選択できない。	・記述力を高めるために定期的なテーマ作文や感想文などの文章を書く時間の確保をする。また、主述をはっきりさせた文章で話すことを心がける。
	算数	68.5	74.3	◎基礎的な問題をしっかりと解くことができた。全体的に無解答が少なく、根気強く取り組むことができた。 ●求め方を式を使って説明する等、考えを表現する問題の正答率が低かった。	・自分の考えを説明させる場の設定、説明をする、聞く、考える時間の確保をする。また、主語を用いた説明の仕方を浸透させる。